

会員投稿 『地域の仲間22人』 太田市 村松晴雄

自分の「遊び仲間」22人を紹介します。今から25年前、地元の市議会議員候補者の運動員（地域の組長）として選挙事務所で、お互い初顔同志でしたが、一週間つき合っていますと、地域の仲間として「新友会」という会を作りました。途中で退会・入会者があり、現在は22名の会員です。4月 定期総会・懇親会、5月 グラウンドゴルフ、7月 南郷温泉、日帰り旅行、10月 草津温泉、一泊旅行、12月 餅つき大会・忘年会、1月 薮塚温泉、新年会等などを行ないました。

仲間の職業は、富士重工・三洋電機・明電舎・群馬NEC・矢崎総業・フセラシ・公務員・三菱電機各OB及び、自営業・地元の企業です。年齢は45歳～69歳で平均年齢は62～63歳位。地元の区長、副区長、会計監査も仲間達が積極的に行なっています。

最大のイベントは、『餅つき大会』です。年末の日曜日、町の集会所を前日より借りきつて、昔ながらの餅つきをします。竈（カマド）2個、セイロ4、大釜2、うす・杵1セット、薪（木の廃材）及び、業務用ガスバーナー2、業務用大鍋2、等などをそれぞれの仲間が持寄って、22人が分担して行ないます。自分は体力がないので、専ら竈（カマド）担当です。

最初ついた餅は、MHK・OBの依田さんが家庭菜園で育てた「大根」のカラミ餅としてフーフー言いながら「うす」に大根おろし・醤油を入れて食べました。この様子は、ホームレスの仲間達が、ボランティア団体より一杯の雑炊を行列して食べる姿とよく似ていました。2～3回ついた餅は、大福餅として5～6人がアンコを餅に包んで176個つくる。4回以降は、普通の餅づくり。60kgをつき終わるのに3時間はかかりました。

料理担当は、プロ顔負けの達人がいまして、大鍋に「キムチなべ」と「白菜・ベーコン炒め」を作り、役員は忘年会の準備で、近くのスーパーへ飲物・刺身・漬物・おつまみ等の買い物出し、設営から片づけまで、全て仲間が行ないます。

22人中19人は、アルコール愛飲者・3人はコーラ党です。自分も、以前約10年会計係をしてきました。

年会費は、夏目漱石5枚で、行事の度に実費にて運営しています。仲間の趣味は、ゴルフ・野球・家庭菜園・カラオケ・競艇・飲む事等です。今後も細く長く、付き合っていこうと思います。（おわり）

